

浸水対策重点地域緊急事業【本川水系本川】（広島県）

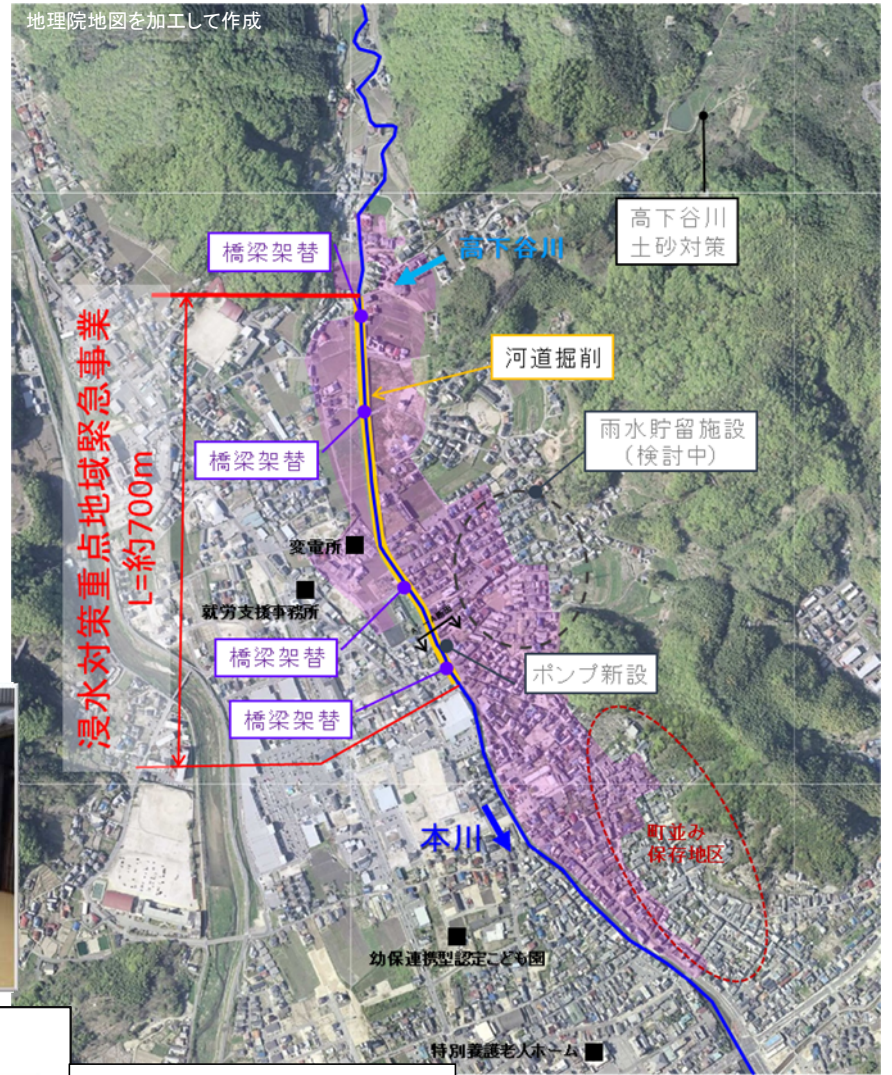
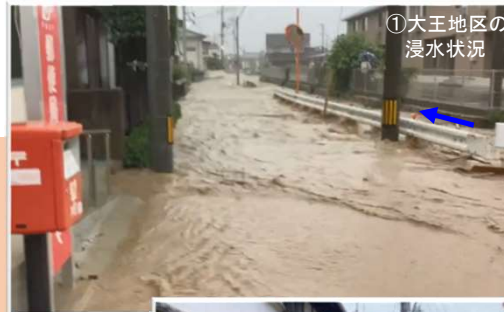
広島県竹原市の本川水系本川では、令和3年7月洪水により、床上浸水90戸、床下浸水166戸の甚大な浸水被害が発生。このため、浸水対策重点地域緊急事業により、河道掘削、橋梁架替等の整備を実施するとともに、内水対策や土地利用規制等の流域対策を推進し、早期に地域の安全性の向上を図る。

【位置図】



〈県・市の独自事業〉

- 県単独事業
 - 高下谷川土砂流出対策
- 市単独事業
 - 雨水排水ポンプの整備
 - 適切な維持管理
 - 維持管理計画に基づいた河川点検の実施
- ソフト対策
 - 県・市：まるごとまちごとハザードマップの実施
 - 市：立地適正化計画の見直し
 - 県・市：特定都市河川指定等による流域治水の推進



【全体計画】

河川名 : 二級河川本川水系本川
 事業内容 : 河道掘削, 橋梁架替等
 全体事業費 : 約21億円
 事業期間 : R4~R8
 施工地 : 竹原市

【令和4年度当初】

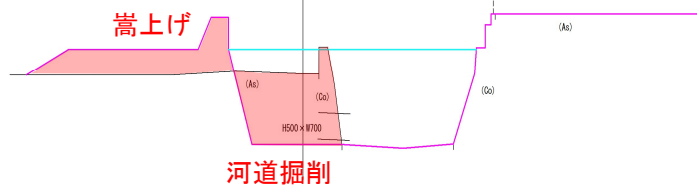
実施内容 : 測量設計
 事業費 : 70百万円(国費35百万円)

浸水戸数	床上	床下	計
R3.7月	90戸	166戸	256戸

【事業効果】

令和3年7月豪雨相当の洪水から床上浸水被害を解消

事業実施のイメージ(A-A'断面)



- 令和3年7月洪水 浸水範囲
- 浸水想定区域内の重要施設

※各施設は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性もある。